



教育目標 創造・連帯・健康

北中だより

令和3年度

第4号

令和3年7月6日

発行者；赤坂治之



ここ数日はっきりしない天候が続き、梅雨のまっただ中という日々になっています。そのような中ですが、どの教室からも明るく元気な声が響き、ほぼ順調に学校生活を送る様子が見えがえします。

しかし、新型コロナウイルス感染に関しては、まだまだきちんとした対策を立てて、教育活動を進める必要があります。今後も文部科学省から出されている「学校の新しい生活様式」に沿って、感染予防対策を立た上で種々の教育活動を行っていききたいと思います。特に、マスクの着用や手洗い・手消毒の励行、密を避けるなどの生活に密着した対策は、習慣化できるように指導をしていききたいと思います。

さて、7月は、総合大会地区予選会や修学旅行など様々な行事があります。それぞれの行事で、子供たちにとって学びや思い出がたくさんできることを願っています。そのためにも健康に留意して欲しいと思います。特に、熱中症には、十分に気をつけなくてはなりません。学校では、定期的な水分補給や適度な休憩時間、エアコンの効果的な活用など行います。ご家庭でも、「早寝早起き朝ご飯」の合い言葉のもとで、栄養バランスの良い食事をしたり、十分に睡眠を取ったりするなどして生活リズムを整えてください。

今後も学校とご家庭で協働して、心身ともにたくましい子どもたちを育てたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



特別の教科「道徳」の授業研究会行いました

6月30日（水）、全学年で道徳の授業研究会を行いました。各学年の内容題材とねらいは、以下のとおりです。

- | | |
|-----|--|
| 1年生 | 題 材：「班のできごと」
ねらい： 異性への理解を深め、互いの個性を尊重し、ともに成長することの関係を気づこうとする態度を育てる。 |
| 2年生 | 題 材：「左手でつかんだ音楽」
ねらい： 主人公の気持ちの変容を考えることを通して、自分の夢や理想を実現するために何が必要か考えることができる。 |
| 3年生 | 題 材：「ハッチを開けて、知らない世界へ」
ねらい： 宇宙空間という音も空気もない「命のない世界」で、作者が感じた「生命感」に共感するとともに、人間の力を超越したものを畏（おそ）れ、大切にすることを育てる。 |

特別の教科「道徳」は、『よりよく生きるために道徳的価値に向き合い、いかに生きるべきから考え続ける姿勢』を育成することが求められています。そのために、道徳の授業では、子供たちが自分自身の生き方を常に見つめていくことが大切です。各担任は、それが出来るように様々な資料を用意するとともに、日常生活での子供たち一人一人の様子を見て、授業中の支援に生かすようにしています。

道徳の授業は、いじめや差別を許さない姿勢や態度の育成にも繋がります。自分の考えを出し、クラスの中できちんと議論を行い、その子の中に道徳的な価値を見いだせるように指導していきます。



1年生の授業



2年生の授業



3年生の授業

QUテストといじめの調査 - 子供たちにとって居がいのある学校にするために -

6月17日(木)、楽しい学校生活を送るための質問紙によるアンケート「Q-Uテスト」を行いました。「Q-Uテスト」の目的は、教員が子供たちの生活を見ているだけでは、どうしても気づけない子供たちの一人一人の内面を見ることがや子供たちの実態と教員の日常生活での見取りとのズレを補うことです。テスト項目は、大きく分けると、子供たちが、日常生活に満足しているかと学校生活を積極的に取り組んでいるかについての2つです。後日結果をお返ししますので、お子様と一緒にご確認ください。

また、別の日には、朝の学級活動の時間を活用していじめに関する調査を行いました。

いじめについては、「いじめ0(ゼロ)」を目指して、「北中学校いじめ防止基本方針」に従い、取り組んでいます。今回の調査もその一環で、定期的に行っているのもです。今回の調査と担任等が日常生活で感じた子供たちの変化と併せて、いじめの早期発見や対応に生かします。

いじめは絶対許さない気持ちで指導に臨んでいます。悩んでいることがあったら、小さいことでもかまいません。先生方に相談して欲しいと思います。北中学校の先生方は、一緒に考え、きちんと対応してくれます。

※居がい…居心地が良いこと。自分の居場所があること。



1年生の校外学習 (福島県方面遠足・こころみ学園ボランティア活動)

6月14日(月)、福島県いわき市へ遠足に行きました。内容は、東日本大震災について、実際に現地を回りながら地元の語り部の方からお話を聞き、有事の際には自分で考え、適切に行動することの大切さを学ぶこと。そして、いわき市石炭化石館で、市の重要産業であった石炭に関わる石炭産出や化石の展示を見ました。また、海辺の街ならではの水族館を見学して、お土産を買ったりすることでした。楽しかったことだけでなく失敗したことも含め、学ぶことが多かった遠足でした。この経験をこれからの学校生活に生かして欲しいです。

6月25日(金)、こころみ学園でボランティア活動を行いました。ボランティア作業の内容は、ぶどうを雨や害虫から守るためのカバーをかける「かさかけ」でした。暑い中でしたが、どの子も意欲的に取り組みました。作業を進める中で、毎日同じ作業を続けている園生の根気強さにすごさを感じることもできました。

これからも校外学習を充実させ、教室では学べないことを学べるようにしていきます。



学校評議員会開催

6月16日(水)に、4名の評議員さんから本校の教育活動について、ご意見をいただく学校評議員会を行いました。

学校の教育方針等の説明や授業見学をした後、意見交換を行いました。

タブレットPCの活用が進んでいます

授業のみならず、集会など様々な教育活動で、活用が広がっています。それに伴いご家庭に承諾や調査などお願いすることが出ます。ご協力のほど、よろしくお願い致します。

総体地区予選会に悔いなく臨もう!

7月9日(金)～11日(日)は、総体地区予選会です。3年生にとって最後の大きな大会です。日頃の成果が出し、結果に納得できるように頑張ってください。

各種感染症感染防止と熱中症予防対策 -健康一番!-

梅雨のじめじめとした、蒸し暑い中です。新型コロナウイルス感染症感に加え、食中毒の心配もあります。これまでやってきた手洗い・手消毒などの感染症予防対策を続けてやってください。

また、これからの時期は、熱中症予防も欠かせません。十分な睡眠や栄養バランスの良い食事、水分補給などを心がけ、生活して欲しいと思います。また、マスクの着用についても周りの様子を見ながら暑い場合は、はずすことなど、暑さ対策をしてください。健康に気をつけながら日々の生活を充実させてください。

